

ドクターヘリ導入に向けた取組状況

1 ドクターヘリ出動要請基準の検討

- 第1回症例検討ワーキンググループにおいて、出動要請基準として「キーワード方式」を採用することとし、少人数でのミニワーキングで素案を作成することとされたため、2回（H27.5.18及びH27.7.23）の検討の中で、下記のとおり案が作成された。
 - ・ 119番通報内容からの出動要請基準キーワードと救急隊現場到着時の出動要請基準キーワードの2種類を設定。
 - ・ 他県の例などを参考にしながら、前者は一般住民からの通報であることを考慮し、内因性疾患に係るものは基準を狭く設定すること、後者は救急隊の専門性から基準を広く設定することなどを決定。
 - ・ さらに周産期や小児に係る特殊性を反映。

2 ランデブーポイントの選定

- ドクターヘリと救急車の合流地点であるランデブーポイントについては、宮城県防災ヘリで使用している臨時離着陸場を基本としながら、県内全域で対応できるよう、400か所程度の設定を目標とすることとしていたところ、各消防機関から適地の推薦を受け、約470か所の候補地を確保。
- 今後は、現地調査を行った上、使用の可否を判断し、リスト化していく。

3 ドクターヘリ関連施設整備

- 仙台医療センターおけるヘリポート、格納庫、給油設備の整備及び東北大学病院におけるヘリポート改修を、平成28年度に順次行っていくシミュレーション運航までに行っていく予定。

4 今後のスケジュール

- 出動要請基準の決定及びランデブーポイントの確定を平成27年度中に行うとともに、関連施設の整備を平成28年度当初にかけて進め、全県でのシミュレーション運航を経て、平成28年度のできるだけ早い時期の運航開始を目指す。